



# 学校だより

令和3年度 第4号  
令和3年7月1日発行  
千葉市立高洲第三小学校



## 先生～〇〇さんが…

未来の大人たちの成長を考える

校長

教室では「先生、〇〇さんが…」という声が聞かれます。「…」のところには、「××していません。」または、「□□してませ～ん。」と続きます。この傾向は、1年生の半ばから4年生くらいまでに顕著に現れます。今月は、この言葉をきっかけに、子供の内面的な成長について考えてみました。

### 友達とのトラブルを成長のチャンスに

成長するにつれて、子供は、「他人の存在」を意識するようになり、それとともに、友達の「アラ」が見えてきます。その成長の一過程が冒頭の発言を生み、場合によってはトラブルに発展します。

私は、この友達とのトラブルを、「成長のチャンス」と捉えています。教科書や問題集では学べない「人生の実地訓練」ともいえることを通じて、ぶつかり合い、すれ違って「人との心理的な距離感」「適切な言葉選び」「表情やしぐさ」「相手の考えを想像する力」などコミュニケーションに必要な事柄を学んでいくのです。

### 大人は「テスト」の得点で給料はもらわない。

子供たちは、「未来の大人」です。社会に出れば、日々人と接し、協働して課題の解決に取り組みます。「定期テスト」などはありません。つまり、「覚えたことを時間内に回答して、高い評価を得る」ことは「学生時代」で終わりなのです。

このことから、教科の勉強に励み、「たくさんの知識を得ること」のみではなく「自分で判断する力、人と協働する力」を身に付けることが「未来の大人」には必要であることがわかります。

### 6歳から12歳程度に身に付けたい資質(参考:文部科学省HP)

小学生の間に身に付けたい資質を紹介します。

- ・ 「人として行ってはならないこと」についての知識と知性の涵養。
- ・ 集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成。
- ・ 自然や美しいものに感動する心の育成。
- ・ 他者の気持ちを想像する心の涵養。
- ・ 「自分にもできることがある。誰かの役に立てる」という気持ちの醸成。

このようなことが、期待されているのです。ただし、焦りは禁物。「遅い早い」をほかの子供と比べても意味はなく、また一朝一夕に成しえるものでもありません。日々、皆さんや我々が、このことを意識して接していけばよいのです。

周囲から「応援してもらえる人」「信頼してもらえる人」に「三小の未来の大人たち」が育つよう、これからも力を合わせてまいりましょう。

## **【安全で楽しい夏休みに向けて】**

子供たちが楽しみにしている夏休みがいよいよ始まります。安全で楽しい夏休みにするために、以下の点についてご家庭で今一度、ご確認ください。

### **◆自転車利用にあたり(保険加入とヘルメット着用)**

・千葉市では、令和3年4月1日より、自転車保険への加入が義務化されました。

自転車は「車両」であることを意識して、日常の点検や安全な利用はもちろんですが、万が一の事故に備えるためにも自転車保険の加入が求められています。

・ヘルメット着用は努力義務です。

自転車の交通事故による死亡は頭部のけがが主な要因です。特に未成年者の保護者は、交通事故被害を軽減するために、子供のヘルメット着用を促すよう努めることが市の条例に示されています。

### **◆SNSのトラブルに注意**

・スマートフォンやパソコンを使うオンライン上のコミュニティでのやり取りで、トラブルに巻き込まれることが多発しています。ご家庭で、約束を守って使うことの大切さについて話し合ってください。保護者の管理の目が行き届くところでの利用がお子様の安全につながります。

### **◆公共施設や危険個所についての確認を**

・マンションのエントランスや施設の池、フードコートは遊ぶ場所ではないことを学校でも指導していますが、ご家庭でもご確認ください。公共マナーを守り、誰もが気持ちよく使える場所にしましょう。